

※本来ならば公平性に十分配慮すべきものだが、試験問題に対して各自がどのように解答するかを見届けることができないことから、試験問題の解答は、どの文献を（誰の意見を）参照したかや費やした解答時間は問わず、解答の完成度で評価することを優先する。つまり、求める解答に対して、不足することもなくかつ過剰・蛇足でもないという視点から評価する。

1. 次の英文を和訳するのではなく、日本語 400 字以内で要約せよ。要約する際、英文に書かれていないことを記さないこと。

The COVID crisis has both raised immediate policy questions and highlighted key structural relationships in the economy. Inequality has risen, rich households have cut back spending on services, and firms have been pushed to the brink of exit in the face of rigid capital operating costs. We develop a model capable of addressing the roles of inequality and other key features of the pandemic economy. Our results have general implications for the macroeconomic effects of inequality and fiscal policy, while also providing guidance on the relative merits of alternative fiscal policies in the face of COVID restrictions on economic activity.

Our framework implies that rising inequality will drag down GDP, as will any additional reallocation of spending by rich households away from service sectors in which low-income households work. In the absence of these developments, the strongest macroeconomic threat associated with COVID19 is firm exit resulting from restrictions on the exchange of services and rigid capital costs, a pattern clearly observed in the data. Our model suggests that the adverse effects may be offset by transfers to households and firms. Furthermore, we show that transfers to firms on the margin of exit are particularly effective in countering economic contraction.

Our framework indicates a number of metrics that will be useful to monitor as the COVID19 crisis evolves. In the absence of rising inequality or reductions in spending by high-income households, nominal GDP will rebound to a level at or potentially beyond what it would have been in the absence of COVID. Rising inequality or reductions in spending by high-income households can mitigate this boom or cause a prolonged slump. Fiscal stimulus will be especially useful in the event of a slump, although its effect per dollar spent is decreasing in inequality. The other important metric is the prices of firms' operating capital, especially for firms that have large fixed operating costs relative to revenues and for multiproduct firms. Downward adjustment of capital prices can mitigate large restriction multipliers.

(Alan J. Auerbach, Yuriy Gorodnichenko and Daniel Murphy, Inequality, Fiscal Policy and COVID19 Restrictions in a Demand-Determined Economy, *National Bureau of Economic Research Working Papers* No.27366, 2020)

2. ミクロ経済学とマクロ経済学に関する①～⑦の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×、どちらでもない場合は△をつけて答えよ。また、誤っている×の記述とどちらでもない△の記述について、その理由も付して答えよ。

- ① 独占企業が供給する財の市場において、需要の価格弾力性が1よりも大きいとき、独占企業の限界収入はプラスとなる。
- ② 農家が生産した農産物の自家消費は、GDPに含まれない。
- ③ 下級財（劣等財）である財は、所得が増えると消費量が減る。
- ④ ある経済においてオークンの法則が成り立っているとす。いま、潜在（実質）GDP（または完全雇用GDP）が600、自然失業率が2%で、それぞれ不変であるとする。いま、失業率が4%のとき、実質GDPが564であったとする。このとき、もし実質GDPが591となったとき、失業率は3%となる。
- ⑤ 流動性のわなとは、取引動機に基づく貨幣需要が、利率がこれ以上低下しても増えない状態のことを指す。
- ⑥ トービンのq理論に基づいて設備投資が決まるとき、現在の資本ストックの水準から望ましい水準へと、両者の差の一定割合だけ投資が行われる。
- ⑦ マネタリストの論理に基づく、通貨供給量は、裁量的に操作するよりも、名目増加率を一定に保つルールに従う方が、金融政策の運営として望ましい。

3. ある閉鎖経済（輸出入がない経済）において、消費関数が

$$C=80+0.8(Y-T)$$

ただし、C: 実質民間最終消費支出、Y: 実質GDP、T: 租税（収入）

と表され、投資関数が、

$$I=12-r$$

ただし、I: 実質投資（固定資本形成）、r: 利率（単位：%）

と表され、貨幣需要関数が

$$L=669+0.22Y-0.5r$$

ただし、L: 実質貨幣需要

と表されるとする。また、中央銀行は、名目貨幣供給を（ちょうど貨幣需要と等しくなるように）800だけ行い、政府は、租税を、

$$T=0.2Y+5$$

となるように課したとする。物価水準は1とする。このとき、下記の(1)～(8)について答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。解答は、整数でなくてもよいが、分数の場合はできるだけ既約分数で答えること。

(1) 実質政府支出（G）を含むIS曲線とLM曲線の式を、「 $r=\dots$ 」の形になるようにそれぞれ示せ（式を導出するだけでよく、図示は不要）。

(2) いま、実質政府支出Gを130とするように財政運営を行ったとする。このとき、マクロ経済において実現する均衡での実質GDPと利率の水準はいくらになるかを答えよ。

- (3) (2)のとき、財政収支 (T-G) はいくらになるかを答えよ。
- (4) (2)のとき、政府支出乗数はいくらになるか答えよ。
- (5) 次に、実質政府支出 G を 134 に増やしたとする。このとき、マクロ経済において実現する均衡での実質 GDP と利子率の水準はいくらになるかを答えよ。
- (6) (5)のとき、財政収支はいくらになるかを答えよ。
- (7) (5)のとき、政府支出乗数はいくらになるか答えよ。
- (8) (4)の政府支出乗数と(7)の政府支出乗数の異同について、その理由とともに答えよ。

4. ミクロ経済学に関する以下の問に答えよ。なお、(6)以降について、答案に途中の計算過程も記すこと。

- (1) 独占企業が供給する 1 種類の財について、消費者は価格受容者 (プライステイカー) で市場の需要曲線は通常の右下がりの直線であるとする。このとき、この財の生産量を Y、独占企業の収入 (=生産量×価格) を R とし、横軸に Y、縦軸に R をとってこの両者の関係を図に描くと、どのような曲線として表されるか、理由とともに答えよ。厳密な図で示す必要はなく、簡素なイメージ図でもよいし、文章だけでよい。
- (2) 独占企業が財を供給すると、死荷重 (超過負担) が発生するのはなぜか、その理由を答えよ (図を用いて説明してもよい)。
- (3) パレート最適とは何か、その定義を答えよ。
- (4) 企業の (短期) 限界費用曲線が、(短期) 平均費用曲線と交わる点は、どのような状態になっているか、その理由とともに答えよ。
- (5) 完全競争市場で、企業の利潤最大化条件として、「価格=限界費用」が成り立つ理由を説明せよ。
- (6) 2つの消費財 (私的財) A と B があり、それらを消費することにより効用を得る消費者がいたとする。財 A の消費量を  $x_A$ 、財 A の価格を  $p_A$ 、財 B の消費量を  $x_B$ 、財 B の価格を  $p_B$ 、所得を I と表すとして、この消費者の効用関数が
 
$$U(x_A, x_B) = \ln(x_A) + x_B$$
 と表されるとする。この消費者が効用を最大化するように各財の消費量を決めるとする。その消費量は必ず正となるとする。このとき、所得 I が増えたときに、財 A と財 B の消費量がどうなるか、それぞれ理由とともに答えよ。
- (7) (6)の状況の下で  $p_A$  が下落すると、財 A の消費量はどうなるか、その理由とともに答えよ。
- (8) (6)の状況の下で  $p_B$  が下落すると、財 B の消費量はどうなるか、その理由とともに答えよ。

以上